泉南市
SENNAN CITY

hana-emi 花笑み-せんなん

令和４年度
泉南市教育重点施策

Sennan Education important Point Policy 2022

―希望と力をもちたくましく生き抜く子どもの育成―

令和 4(2022)年３月

泉南市教育委員会

令和４年度 泉南市教育重点施策

Sennan **E**ducation important **P**oint **P**olicy **2022(SEPP2022)**

（セップ）

この重点施策（SEPP2022）は、**泉南市教育大綱**及び**泉南市教育振興基本計画**に基づき、令和 4(2022)年度に特に力を入れて実施する教育施策をまとめたものです。

各項目の下には、より具体的に令和 4(2022)年度に目指すゴールイメージを記載しています。

泉南市の教育関係者は、大綱や基本計画に示した各施策を丁寧に実施するとともに、この重点施策に掲げたイメージを共有し、協力して次代を担う泉南市の子どもたちを育成してまいりましょう。

泉南市マスコットキャラクター「泉南熊寺郎（せんなんくまじろう）」“せんくま”

SEPP１ 国際化教育

「関空のまち」である泉南市の子どもたちが、グローバル社会の中でたくましく生きていくために、語学力やコミュニケーション能力を育成します。

●国の JET プログラムを活用して、就学前から小中学校まで連携した国際交流・国際化教育を推進

※ALT(外国語指導助手)、CIR(国際交流員)、SEA(スポーツ国際交流員)を、25 人任用します。その JET メンバーが全小学校 10 校、全中学校 4 校に常駐したり、巡回したりします。また、CIR を中心に市内全ての幼稚園、保育所、認定こども園を巡回します。

- 全ての小中学校の外国語授業等に JET-ALT が入り、教員とともにより充実した授業を展開する。
- 子どもの外国語学習などの満足度 90%以上を目指す。
- 全ての子どもが中学校卒業時に、外国人に簡単な道案内ができるようになる。
- インターネットにより外国の学校と結んだ授業を実施する。
- 国際交流拠点校を定め、国際理解教育や外国籍の方の相談業務等、拠点としての運用を目指す。

●実用英語技能検定試験を市内会場で実施し、有資格率を向上

- 小学生、中学生とも、検定受検者及び有資格率がより増えることを目指す。

●ワールドマスターズゲームズ 2026(仮称) に関する国内外への広報を強化

※関西国際空港に臨むタルイサザンビーチにおいて、水泳(オープンウォータースイミング)競技世界大会の開催を目指しています。その世界大会に向けプレ大会を継続し、広く国内外からの参加者を募ります。

- 国内はもちろん、JET-CIR により国外への広報を強化し、泉南市を PR することで、国内外からの参加者数や来客数の増加を目指す。

JET-ALT が参加する小学校授業

SEPP2 ICT 教育

これからの時代に不可欠な ICT(情報通信技術)について、子どもたちが前述の国際化教育と相まって、外国語で読み、判断し、発信していけるようなスキルを身に付け、これからの時代を、たくましく生き抜く力を育成します。

●GIGA スクール構想の推進による学校の ICT 環境の充実

・GIGA スクール構想に沿って整備された、1 人 1 台端末、大型モニター、教職員用 ICT 機材等を活用し、効果的な授業を創造する。

・現在行っているオンライン学習、家庭学習のより一層の充実等を図る。

・現在小学校 3 校、中学校 1 校が指定を受けている「学校情報化優良校」を増やす。

●プログラミング教育の推進

・小中学校において、ロボット教材等を通じて、ICT 活用能力の基礎となるプログラミング的思考や知識・技能等の育成を図る。

●ICT 支援員の派遣やオンラインサポートにより学校の ICT 教育を支援

・情報通信技術(ICT)支援員等の学校への派遣や、GIGA スクール運営支援センターのオンラインサポートなどにより、GIGA スクール構想に伴い導入された ICT 機材が有効活用できるよう、学校現場を強力に支援する。

学校情報化優良校である小学校での授業

SEPP3 小中一貫教育

小学校と中学校との連携を更に進めて、目指す子ども像を共有しつつ、一貫したカリキュラムや生徒指導を進めることによって、学力向上や教育内容の充実を図ります。

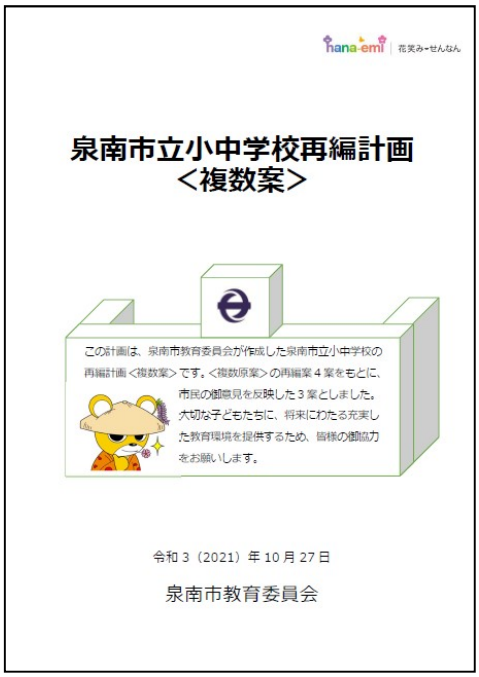
また、学校の在り方を検討し、小中一貫教育を進めやすい環境を整備します。

●泉南市独自の小中一貫教育を構築

- 外国語教育を軸として、就学前教育から中学校までのデザインを共有し、関係者で協力して着実な積み重ねができるシステムの構築を図る。
- 各中学校区の小学校間で、人権教育などの教育内容について学齢に応じたカリキュラムを統一し、中学校との一貫した教育内容を構築する。

●小中一貫教育が行いやすい学校づくりへ－再編計画の策定と推進

- 小中学校再編計画〈複数案〉について、教育問題審議会の答申を経た上で、小中学校再編計画を策定する。
- 小中学校再編計画に基づき、新たな小中一貫教育が行いやすい学校づくりを推進する。



泉南市立小中学校再編計画＜複数案＞表紙（令和３年 10 月）

SEPP4 教職員研修(学力向上、いじめ・不登校減少等)

子どもの成長や支援のカギを握るのは教職員です。教職員が、経験の浅い段階から管理職までの各段階で確実に力をつけていけるよう、また、国際化教育、ICT 教育など新たな課題に取り組むためにも、研修の更なる充実を図ります。

そのためにも、感染症の拡大により、校外での研修が困難になったことから、教育委員会と各学校園がこの度整備されたオンラインネットワーク等を活用して、情報提供、情報共有をし合い、校内研修の充実や自己研鑽の推進に努めます。

その結果、教職員の授業力向上と子どもの学力向上を目指します。

●校内研修・校外研修・自己研鑽のための支援の充実

- 校内研修・校外研修・自己研鑽の実態を調査し、教職員一人ひとりが充実した研修ができるようきめ細かく推進する。
- 教育委員会や各学校が、オンラインネットワークを活用し、校内研修や自己研鑽のためのコンテンツを提供し合う。
- 学校教育アドバイザーにより、研修機会の増加と、講師等を含む経験年数の浅い教職員を個別サポートし、資質の向上を目指す。

●授業力向上による学力の向上

- 研修等による教員の授業力の向上をもとに、子どもたちの主体的な学びを引き出し、全国学力調査等での上昇傾向を作り出す。

●支援力向上によるいじめ・不登校の減少

- ICT などを活用した不登校児童生徒への多様なアプローチを研究する。
- 子どもを見る力、個に応じて関わる力等の支援力の向上により、いじめ・不登校状況の改善を目指す。

●人権教育の着実な推進

- 全ての教職員が自らの人権感覚を高めるとともに、あらゆる場面で人権意識を絶えず見つめ直しつつ教育活動を行うなど人権教育を推進するとともに、人権教育に関する研修や研究事業を着実に実施する。
- JET メンバーと連携して、互いの違いを認め、共に生きる教育を推進する。